

GMAT 数学完全攻略～第2版～

正誤表

2021年9月15日

本書中、下記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- p.60 「約数-応用問題 4(DS 問題)」のステップ 3(2021年2月19日版で訂正済)
誤 n の値は、 $n = 5, 11, 29, 83$ のみ、つまり $p = 1, 2, 3, 4$ の場合のみである。
正 n の値は、 $n = 3, 5, 11, 29, 83$ のみ、つまり $p = 0, 1, 2, 3, 4$ の場合のみである。
- p.62 「約数-応用問題 5(DS 問題)」のステップ 2 の 2 行目 (2021年8月29日版で訂正済)
誤 $n = 3^p + 1$ に $p = 0, 1, 2, 3, \dots$ と代入していく。
正 $n = 3^p + 2$ に $p = 0, 1, 2, 3, \dots$ と代入していく。
- p.154 「分数-応用問題 2(DS 問題)」の補足の最終行 (2021年9月15日版で訂正済)
誤 よって、 $\frac{b+d}{a+c} < \frac{b'+d}{a+c} = \frac{d}{c}$ が成立。
正 よって、 $\frac{b+d}{a+c} > \frac{b'+d}{a+c} = \frac{d}{c}$ が成立。
- p.340 「不等式-基礎問題 3(PS 問題)」の問題文 (p.341 の和訳も同様)(2021年4月26日版で訂正済)
誤 II. $\frac{5}{2} < x < 3$
正 II. $\frac{3}{2} < x < 3$
- p.341 「不等式-基礎問題 3(PS 問題)」の解説の下から 3 行目 (選択肢 II のグラフ)(2021年4月26日版で訂正済)
誤 $\frac{5}{2}$
正 $\frac{3}{2}$
- p.401 「直角三角形-三平方の定理」の解説の図 (2021年9月15日版で訂正済)
誤 $b - a$
正 $a - b$
- p.412 「直角三角形-基礎問題 3(DS 問題)」の問題文条件 (2) (2021年4月26日版で訂正済)
誤 当該三角形の面積は 32 である。
正 当該三角形の面積は 32 平方センチメートルである。

- p.477 「座標幾何-対称な点の座標」の解説の下から2行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 させてたものである。
正 させてたものである
- p.484 「座標幾何-線型計画法(発展)」の解説のp484の下から2行目(2021年8月29日版で訂正済)
誤 一方、直線 l が C の位置にある時は、
正 一方、直線 l が B の位置にある時は、
- p.485 「座標幾何-線型計画法(発展)」の補足の1行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 本問を正確に解くと以下のような解法となるが、
正 本問を正確に解くと上記のような解法となるが、
- p.498 「座標幾何-応用問題2(PS問題)」の問題文の1行目と3行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 strage
正 storage
- p.506 「座標幾何-応用問題5(DS問題)」の問題文の条件(2)(2021年9月15日版で訂正済)
誤 直線 l と、式 $y = -2x - 4$ で表される直線と、
正 直線 l は、式 $y = -2x - 4$ で表される直線と、
- p.540 「確率-余事象」の枠の中の最終行(2021年9月15日版で訂正済)
誤 f「少なくとも(at least)～となる確率」
正 「少なくとも(at least)～となる確率」
- p.602 「集合-ベン図」の枠の中の3行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 aは集合Aのみの集まり
正 aは集合Xのみの集まり
- p.602 「集合-ベン図」の枠の中の4行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 bは集合Bのみの集まり
正 bは集合Yのみの集まり
- p.602 「集合-ベン図」の枠の中の5行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 cは集合AとBの両方に入る集まり
正 cは集合XとYの両方に入る集まり
- p.602 「集合-ベン図」の枠の中の6行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 dは集合AにもBにも入らない集まり
正 dは集合XにもYにも入らない集まり
- p.626 「集合-応用問題3(DS問題)」のステップ3の2行目(2021年9月15日版で訂正済)
誤 質問文と条件から分かっている情報をと条件(1)で考えた
正 質問文と条件から分かっている情報を、条件(1)で考えた

- p.626 「集合-応用問題 3(DS 問題)」のステップ 3 の 2 行目 (2021 年 9 月 15 日版で訂正済)

誤 条件 (1) で考えた $x\%$ 、条件 (2) で考えた $y\%$ と置いて表にまとめる。

正 条件 (1) で考えた $x\%$ 、条件 (2) で考えた $y\%$ を用いて表にまとめる。

- p.652 「数列-確認問題 1」の解説の (C)(2021 年 9 月 15 日版で訂正済)

誤 $T_2 = \frac{4-2}{2+4} = \frac{2}{6}$

正 $T_2 = \frac{4-2}{2+4} = \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$